



大分県立三重総合高等学校



参加のねらい・目的

- ・多様な環境を体験させることで、自己発見能力を育てる。
- ・専門教科「情報処理」で高度な検定に挑戦することで、ソフト利用の可能性を探るとともに適応能力を育てる。
- ・普通教科「情報A」での基本的なプレゼンテーション能力とビジネス文書の作成を通じた事務処理能力の育成

実践内容

活用したアプリケーション

Calc、Writer、Impress、Firefoxを利用

授業実

Calcを使った「情報処理」の授業
2年生メディア科学科



Writerを使った「情報A」の授業
1年生 普通科



ネットワークブートで使用 情報処理検定試験1級へのチャレンジ



CDブートで使用 検定試験3級レベルビジネス文書の作成

その他、Impressを使った中学生向け学校紹介プレゼンテーションの作成やブラウザを使った調べ学習など

事業の成果

- ・戸惑いを感じない生徒（特に2年生）が積極的にソフト利用の可能性について調べるなどの面がみられた。
- ・OS（検定試験必須用語）がWindowsだけではないということを経験できたことにより、関連知識も含めて知識の深化が図られた。
- ・昨年度「情報A」でスムーズに利用できたため、本年度も教科書の内容に従い効果的に利用できた。
- ・本年度新たに3名の担当者が、Open Officeを積極的に利用するようになった。

参加した感想

ビジネス文書や表計算など検定試験では、与えられた指示を模範通りに作成することが求められる。書式設定はもちろん表の中での均等割付、記号の表記、文字の位置、グラフの順番など細かい指示がある。その細かい設定に対し、MS-WORD、EXCELに慣れている教師と生徒が一緒になって、チャレンジしていった。生徒から“こうしたら指示通りになる”とアドバイスをもらうこともしばしばあり、みんなで発見しながらの授業展開であった。特に昨年度経験をした2年生が、EXCELでのピボットやソルバーなどを中心としたCalcとの違いを積極的に発見する姿はとても頼もしく感じた。また今年度は新たに3名のスタッフ(教員)が加わり、チャレンジの輪が広がっていった。

将来展望

普通教科「情報A」においてはOSの知識の進化とともに教科書の各箇所（プレゼンテーション・文書作成など）OpenOfficeの使用が可能である。今後もOpenOfficeのバージョンアップに応じてCDを作成し活用していきたい。